

作物別経営指標プラン

【白ネギ（作型・露地）】

1 対象経営の概要

保有労働力	2 人	作型別作付規模			
経営耕地面積		対象品目	面積	その他の作物	面積
田					
畑	30a	白ネギ	30a		
樹園地					
草地					
(うち施設)					

土地 利用 体系	作目	面積	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	白ネギ	30a					★	★						
凡例	 播種 ★ 定植  管理：追肥・草刈り・土寄せ(9, 10, 11 月)  収穫													

2 収益性

始めたばかり

【10a当たりの収量】

2,100kg

【2人で出来る面積】

30a

年間収入 252万円



栽培技術の向上

【10a当たりの収量】

3,000kg

【2人で出来る面積】

60a

年間収入 705万円

年間所得：1,320,000 円（年間収入 2,520,000 円－総経費 1,200,000 円）

経費の内訳（10 a あたり）

苗代：100,000 円程度（10 a あたり 60～70 枚必要、1 枚 1,700 円程度）

肥料代：85,000～100,000 円程度

農薬代：40,000 円程度

出荷資材：60,000～80,000 円程度

（3 キロ段ボール 1 枚 74 円で 2000～3000 キロ、700～1000 ケース程度）

物流コスト：圃場や出荷場までの距離に応じて変動

10a 当たり経費：400,000 円程度

30a 当たり経費：1,200,000 円程度（400,000 円×3）

3 前提条件

農地（土壌）	水はけがいい農地（猛暑日は乾きすぎに注意） サラサラの土作り 水はけが悪い水田は根腐れを起こすため不向き 弱酸性土壌（pH6.0～6.5）
茶転換	可能 茶園は酸性土壌（pH4.5前後）のため苦土石灰を使用した土壌改良が必要。
複合経営	管理期間は長いが手間が少ないため他作物と複合経営可能。 取組事例）水稲＋白ネギ、茶＋白ネギ
拡大可能性	あり 収穫期・出荷期に人を増やすことで規模拡大が可能。
持続可能性	あり 出荷単価が安定しており、大きく値崩れすることはない。 約 400 円/kg
販路	自己開拓（ファーマーズマーケット、EC サイト等） 市内農業法人への出荷 白ネギ委員会に所属すれば JA 出荷が可能
初期投資	30a 程度の場合、一般的な農業用機械（トラクター、耕運機、管理機等）に加え、ネギ専用機械（定植機）が必要。（全部で約 100 万円） 作業の効率化を図る場合、追加でネギ専用機（皮むき機、コンプレッサー、調整器、結束機）が必要。（全部で約 100 万円） ※機械の共同活用（シェアリング）もできる。